

## 平城宮跡資料館 新春ミニ展示 「平城京の子」

2020年(令和2)は子年。「ネズミ算」という言葉もあるように、旺盛な繁殖力をもつネズミは、子孫繁栄・商売繁盛の象徴です。また、子年は、十二支の最初の年。新しいサイクルの始まりであり、成長に向かって種子が膨らみ始まるという意味を持っています。まさに、未来に向けて令和の時代が本格的に動き出す年としてふさわしいといえるでしょう。

さて、申(2016年)、<sup>なほやま</sup>戌(2018年)、亥(2019年)とおこなってきた新春ミニ展示。子年の今回は、奈良市法蓮町の那富山墓にある隼人石に線刻された謎の獣頭人身像の拓本画像を展示します。これがなぜ、ネズミなのか?は、平城宮跡資料館でご確認ください。また、「鼠」と表記されている木簡の写真も展示します。乞うご期待。

それでは、新年が皆様にとって、よい年であることをお祈りしております。

(企画調整部 加藤 真二)

会 期：2020年1月4日(土)～1月26日(日) 月曜休館(祝日の場合は翌平日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heiho/museum/> お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)



編集 「奈文研ニュース」編集委員会  
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>  
Eメール [koho\\_nabunken@nich.go.jp](mailto:koho_nabunken@nich.go.jp)  
発行年月 2019年12月